

高薄町長

山林売買について、現状では法的規制が厳しくないため、国へ向けて法改正を求める要請を強くしていかなければならない。

また、大切な森林資源を守るという意識が希薄になってきているので、資源保全に対しての機運を高めるような事業展開を、国や道とともに進めなければならぬと考える。

**総合計画初年度に町全体の元気が出る新規施策を**

西山輝和議員

新年度からスタートする第5期総合計画では「コンパクトなまちづくり」を掲げているが、このコンパクトシティを構築する誘導策として、都市計画区域内外及び簡易水道、集落排水完備区域内に、住宅を新築す

る町民と転入者を対象に、補助金制度を創設する考えはないか伺う。

また、市街地活性化策として、空き店舗を活用した「ふれあいサロン」や「特産品販売」など、新たに作り組む事業への支援策についてもあわせて伺う。

高薄町長

第5期総合計画に基づきながら、定住対策を重点的に検討していくと考えている。

また、空き店舗対策についても、商工会や観光協会等と協議しながら取り組んでいきたい。

**口蹄疫及び家畜伝染病の防疫対策は**

西山輝和議員

①法律により実施している家畜伝染病の定期検査の実施時期は。

②口蹄疫防疫対策として初動体制に問題はないのか。家畜伝染病自衛防疫組合の機能と活動状況は。また、「家畜の飼養衛生管理基準」を防疫対策にどういかしているのか。

③今後の防疫対策で、本町独自の最低限行動規



空き店舗の活用を含め、市街地活性化策を関係機関と協議し、考えていかなければならない。

範としてマニュアル整備が必要ではないか。

高薄町長

①法定伝染病の定期検査は、5年に一度実施している。

②防疫体制は、家畜伝染病自衛防疫組合が中心に係関係と一丸となつて対応しており、現状問題はない。

「家畜の飼養衛生管理基準」は、平成16年に制定されており、各畜産農家に配付しているが、再度周知することも検討していきたい。

③十勝総合振興局が作成したマニュアルに基づき、本町でも作成しており、関係機関に周知している。

**高齢者の福祉対策の考え方は**

安田 薫議員

ひとり暮らしの高齢者が、家庭や地域とのつ

ながりを持たずに、2、3日に1回しか会話をしない人が、男性で4割、女性で3割いるという調査結果が出ているが、本町の事態と高齢者の孤立防止策はどうなっているのか。

また、ひとり暮らしや健康に不安のある高齢者へのサービスは、今後、どのような形で実施していくのかについて伺う。

高薄町長

現在、ひとり暮らしの高齢者等に対しては、介護予防対策や給食サービス、緊急通報システム、小規模地域ネットワーク等の施策を実施しているが、今後は状況をみながら、24時間サポートしていくことも検討していきたいと考えてはならない。

**中学生のスポーツ振興支援策は**

安田 薫議員

少子高齢化で子どもたちの数も減少し、本町も清水・御影合同チームでの大会への参加が多くなった。

部活動でしかできないスポーツは親の負担が多くなり、送迎等に時間を要する場合もある。

中学生のスポーツ振興策として、個人負担しているスポーツ用品や施設使用料に対する助成などの支援策、また、指導者の確保対策について伺う。

三澤教育委員長

中学校の部活動におけるスポーツ用品については、部員が共通使用するものは、部費や学校配分予算で購入しているが、競技者個人が使用する高額な用具の助成は困難であり、個人負担